



プログラムの概要・コンセプト：総合性に立脚した内分泌・代謝分野の専門性の習得

突然ですが、「なんとなくだるい」、「疲れやすい」、「太る・やせる」といった症状を、患者さんからよく相談されませんか？ また、糖尿病、脂質異常症、高血圧症といった生活習慣病の患者さん、本当に多くいらっしゃいますよね。これらの症状と疾患を正確に診療することができれば、実に多くの患者さんの利益に貢献することができます。そのためには、何を学ぶ必要があるのでしょうか？

● 「総合力」と「専門力」がつく教室です

これらの一見、不定愁訴としても捉えられがちな症状の背景には、副腎皮質機能低下症、バセドウ病などの内分泌疾患が潜んでいることがあります。そして、1型糖尿病や、原発性脂質異常症など、決して一筋縄ではない代謝性疾患もしばしばです。また、生活習慣病の経過中には虚血性心疾患、感染症、認知症、癌など、他の診療分野の疾患が発症することもあります。つまり、多くの患者さんの利益に貢献するためには、「総合内科的スキルをもつ『ジェネラリスト』」であると同時に、「内分泌・代謝両分野の『スペシャリスト』」であることが求められるのです。私達は、この「総合力」と「専門力」の両方を習得することを目指します。

● 広く医療に貢献できる医師になろう！

このように、糖尿病・内分泌内科は、「総合性に立脚した内分泌・代謝分野の専門性の習得」を教育のモットーとしています。ジェネラリストとスペシャリストの区別なく、豊富な症例と洗練された教育システムにより、研修プログラムが終わる頃には、自然と両方の素養を持つオールマイティな医師に近づいていることをお約束します。ぜひ、広く医療に貢献することを志して、私達と有意義な時間を過ごしましょう！



一人ひとりのキャリアプラン・ライフプランを尊重する教室です

人生いろいろ、医師の生き方もいろいろです。糖尿病・内分泌内科はあなたのキャリアプラン・ライフプランを共に考え、教室単位でサポートします。

● 仕事と家庭の両立を応援します

各自のキャリアプランを考慮したワークライフバランスが確立できるよう、業務と家庭(特に子育て)の両立に教室全体で取り組んでいます。業務の内容や時間帯などを総合的に考慮し、ワークシェアリングを含めた教室員間の業務配分を適切に調整し、業務量の偏りを最小化したワークライフバランスを追求しています。

● 教室員(女性・卒後8年目)の言葉

「周囲の先生方が家庭をもつ医師に対して大変協力的な姿勢を示してくださり、仕事と家庭の両立が可能となっています。保育園への送り迎えや子供の体調不良の際なども、教室として手厚いバックアップを頂き、大変感謝しています。自分としては、常に『自分には何ができるか』を考え、日中の診療業務や教室活動のお仕事を積極的に担当して、自身が可能な活動を通じて教室に貢献することを心がけています。家庭があっても仕事のプランクを作りたくなかったので、こうした恵まれた環境に感謝しております。自分のキャリアを磨くことで、後輩へもこうした道が可能な教室であることを示していくことが自分のできる恩返しだと思っています。」

具体的な研修内容

常時6-8症例の患者を受け持ち、3ヶ月の研修で糖尿病約40例、内分泌疾患約15例程度を担当します。1型・2型糖尿病はもちろんのこと、先端巨大症、下垂体機能低下症、バセドウ病、褐色細胞腫、原発性アルドステロン症、原発性副甲状腺機能亢進症など多種多様な疾患を経験することができます。チーム制で入院患者を担当し、アカデミックかつ実践的な指導を行っています。また、内科専門医、糖尿病専門医、内分泌代謝科専門医の取得であったり各種学会発表や論文発表に関しても、教室として責任を持ってサポートしています。初期臨床研修・後期臨床研週の時期に応じた献身的な教育を心がけています。是非、安心して糖尿病・内分泌内科においで下さい！

